

平成30年度 自然観察会 実施報告

四日市自然保護推進委員会

回数	第 2 回	参加者数	51 名
テーマ	河口の生き物と護岸改変後のようす		
実施日	平成30年5月27日	天候	晴れ
場所	鈴鹿川派川 楠衛生センター近く		
コース	開会時刻(10:05) 衛生センター近くの堤防→ 海岸砂浜 → 衛生センター排水口→ 河口砂浜 → 海岸 解散時刻(11:45)		
指導内容など	<p>指導内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楠緑地公園の駐車場で一度集合してから現地に移動する予定でしたが、駐車場がいっぱいだったため、鈴鹿川派川に移動してから観察会をスタートしました。 ・鳥や昆虫の出現は、とても少なかった。 ・堤防工事でカニとりのできる場所がかなり減っていました。幼児の参加が多く、見通しが悪かったところもあり、安全のためにも事前にヨシを刈っておく方がよかったです。 		
参加者の感想・声など	<p>参加者の感想・声など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段できない経験ができ、面白かった。 ・カニの生育場所の変化に驚いた。生物の種類や数が減っていて残念です。 ・鳥が少なく、ほとんど観察できず残念でした。 ・身近に水の生きものを見ることがないが、子どもに見せることができてよかった。 ・カニとりがおもしろかった。 ・幼児には草むらの中は少し危ないように思いました。 		

観察記録(観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類)	
植物	<p>・堤防工事で河口周辺の環境が変わったが、種を絶やさないためのハマナデシコの移植などがうまくいったことなどの話をしました。</p> <p>アイアシ、ヨシ、ハマボウフウ、ウシオハナツメクサ、ハママツナ、ハマナデシコ、ホソバハマアカザ、カララヨモギ、シナダレスズメガヤモドキ、ハマエンドウ、シロザ、ハマボウ、ハマゴウ、ハマボウフウ、テリハノイバラ、ハマヒルガオ、シロバナマンテマ、カワヂシャ、オオカワヂシャ、ダキバアレチハナガサ、ウマゴヤシ s p、ネズミムギ、コモチマンネングサ、キキョウソウ</p>
昆虫	キクスイカミキリ、アオスジアゲハ、モンシロチョウ、ヒョウタンゴミムシ類

魚, 貝, カニ	<ul style="list-style-type: none"> ・カニの幼生を見ることができ, 紹介しました。 ウキゴリのなかま (幼魚), ゴクラクハゼ, マハゼ, イシマキガイ, フトヘナタリ, ツメタガイ, ベンケイガニ, クロベンケイガニ, アシハラガニ, カクベンケイガニ
野鳥	<ul style="list-style-type: none"> ・シロチドリの営巣を妨げないように, 気をつけて砂浜を歩きました。 ヒバリ, ツバメ, ムクドリ, カワウ, アオサギ, シロチドリ, キアシシギ, オオヨシキリ
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防工事による環境の変化と, ハマナデシコの移植について ・海水の貧栄養に伴う, 生物の減少について

移植され, つぼみを持ったハマナデシコ



観察のようす

